

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04020100

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17 上・下水道の整備	事業優先度	B	
単位施策	2 下水道の普及促進	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	浄化槽整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体	町	関係課	10 建設水道課	
事業指標	生活排水処理率		#N/A	
事業目標	100%	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 水質汚濁防止法・浄化槽法	
住民協働		関係個別計画名	有 一般廃棄物処理基本計画	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	公共下水道処理区域外の生活排水処理を充実させ、公共水域への環境負荷を解消するため、合併処理浄化槽設置者への補助金の交付。 ・ 住民負担額の95%を補助	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基
	事業費(千円)	50,000	10,000	10,000	10,000	10,000
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	4,550	910	910	910	910
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	45,450	9,090	9,090	9,090	9,090	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	44,629	10,887	8,954	16,188	8,600
	財源内訳					
	国庫支出金	3,669	704	793	1,439	733
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	40,960	10,183	8,161	14,749	7,867	
関 連 事 項	特定財源の名称 循環型社会形成推進 交付金	【評価・実績】	(実施内容等) 合併処理浄化槽設置補助 合併処理浄化槽維持管理補助	(実施内容等) 合併処理浄化槽設置補助 合併処理浄化槽維持管理補助	(実施内容等) 合併処理浄化槽設置補助 合併処理浄化槽維持管理補助	(実施内容等) 合併処理浄化槽設置補助 合併処理浄化槽維持管理補助
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	浄化槽設置基数	浄化槽設置基数	浄化槽設置基数	浄化槽設置基数
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率				
	全体達成率					
	備考欄					

事業名	浄化槽整備事業	評価者	管理職 職氏名	住民生活課長	新谷 朋人
		評価者	作成者 職氏名	環境衛生係長	武藤 知憲

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	下水道処理区域外全戸	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	設置者への補助件数								
【抱える課題やニーズは】	生活排水未処理放流による公共水域への環境負荷	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生活雑排水処理の充実に伴う生活環境の向上	① 設置者補助件数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>6件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>6件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	6件	実績値	6件	達成度	100.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	6件										
実績値	6件										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生活雑排水処理設備(合併処理浄化槽)の設置数を向上させる	② 維持管理者補助件数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>20件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>20件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	20件	実績値	20件	達成度	100.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	20件										
実績値	20件										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	合併処理浄化槽設置者に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置に係る経費の95%相当分を補助(下水道処理区域外) ※処理人槽により上限額が異なります。									
	合併処理浄化槽維持管理に対する補助金の交付	合併処理浄化槽維持管理費の一部を補助(上限額25,000円)									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	公共水域の水質保全、快適な居住環境を確保するためには、生活雑排水の水洗化を図る必要があります。下水道処理区域外に対して合併処理浄化槽の普及を推進する必要があります。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	合併処理浄化槽の設置者は、年々増加しており、生活雑排水処理の充実が推進されていると判断します。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	補助金交付申請の際、合併処理浄化槽設置分の見積書を添付書類としており、設置工事の内容審査を行っていることから、事業費は抑制されているものと判断します。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	本事業は下水道処理区域外が対象となりますが、下水道処理区域外の生活雑排水の充実は公共水域の水質保全に寄与されることにより、環境保全及び快適性が向上し、全ての町民が快適で清潔な生活環境が推進されるものであり、公平性は保たれていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
合併処理浄化槽の普及は、公共水域の保全を推進する上で有効な施策であり、計画どおり事業が進んでいると考えます。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
公共下水道区域外の生活雑排水処理を充実させ、公共水域の環境負荷を改善するため、今後も計画どおり事業を進めることが適当であります。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止